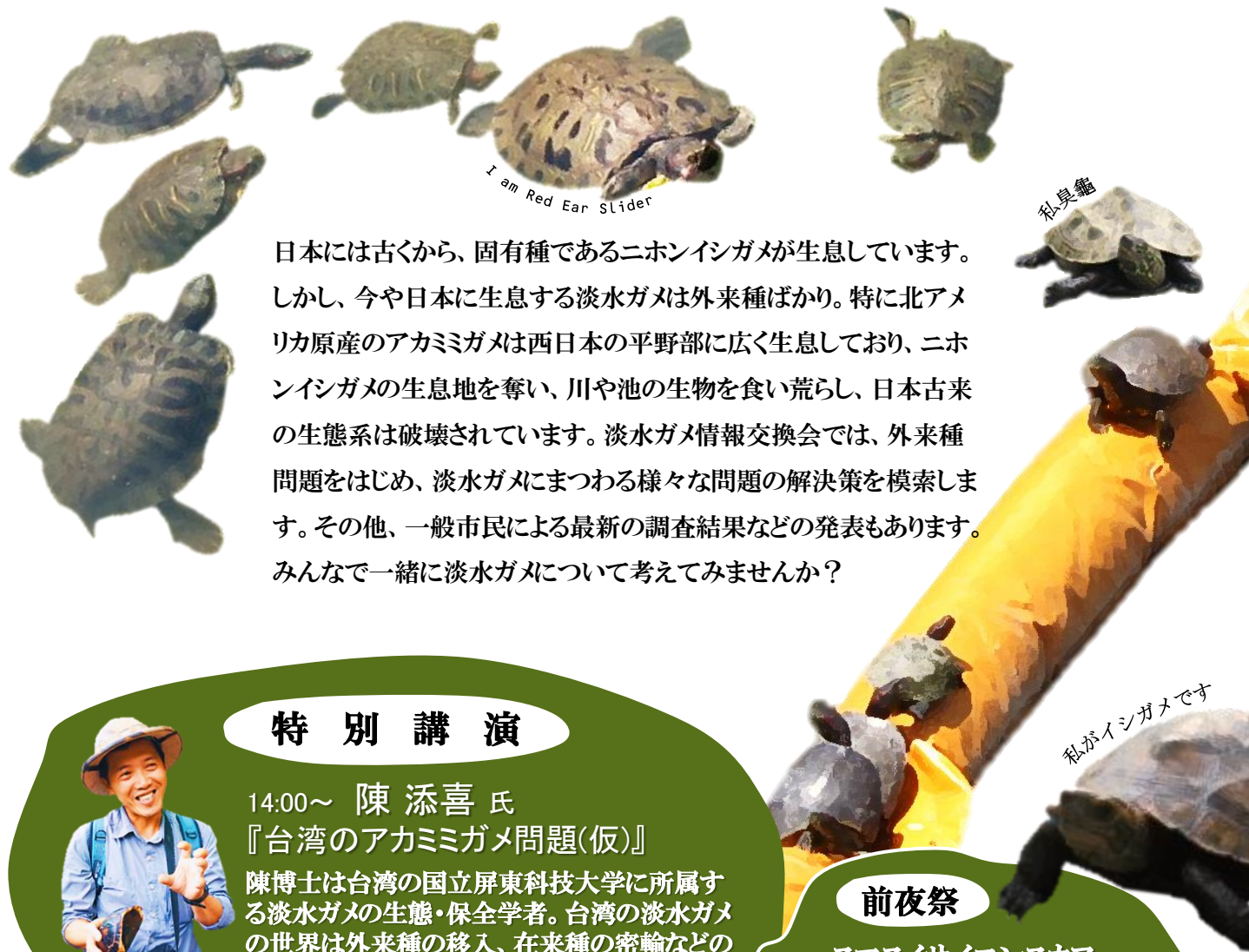


第3回 淡水ガメ情報交換会



日本には古くから、固有種であるニホンイシガメが生息しています。しかし、今や日本に生息する淡水ガメは外来種ばかり。特に北アメリカ原産のアカミミガメは西日本の平野部に広く生息しており、ニホンイシガメの生息地を奪い、川や池の生物を食い荒らし、日本古来の生態系は破壊されています。淡水ガメ情報交換会では、外来種問題をはじめ、淡水ガメにまつわる様々な問題の解決策を模索します。その他、一般市民による最新の調査結果などの発表もあります。みんなで一緒に淡水ガメについて考えてみませんか？

特別講演



14:00～ 陳添喜氏
『台湾のアカミミガメ問題(仮)』

陳博士は台湾の国立屏東科技大学に所属する淡水ガメの生態・保全学者。台湾の淡水ガメの世界は外来種の移入、在来種の密輸などの問題にさらされ、てんやわんやです。今回は台湾のカメ事情についてお話しいただきます！

前夜祭

スマスイサイエンスカフェ
10月23日(金)18時～
神戸市立須磨海浜水族園
エントランスホールにて

2015年10月24-25日(土・日)
会場 神戸市中央区 相楽園会館

プログラム

24日 13:30～	開会	25日 8:30～	受付開始
14:00～	陳博士の特別講演	9:00～	市民からの発表
18:00～	日本庭園を眺めながら懇親会	17:00	閉会